



# 特別研究員（地域連携型）の受入申請の流れ

国立特別支援教育総合研究所では、研究実施に有用な地域の教育現場の情報を得るために、都道府県等と協力して研究を行うことを目的とした、特別研究員（地域連携型）を受け入れています。特別研究員（地域連携型）は、1年間研究所で勤務しながら、研究所が取り組む研究に参画するとともに、研究課題と関連した地域課題の研究に取り組みます。

## 特別研究員の特徴

- 【形態】
- ・研究所の研究に参画し、研究課題に関連する地域の情報を提供します。
  - ・特別研究員（地域連携型）が研究所において研究に取り組むため、研究支援担当研究員と相談・協議をすることができます。
  - ・文部科学省主催の会議やセミナーに出席したり、先進地域への情報収集に出掛けたりすることで、最新の情報を収集し地域に還元することができます。
  - ・研究所で開講している研修講義を聴講することができるなど、将来のリーダーとしての資質向上が期待されます。
- 【対象】
- ・教育委員会、教育センターで特別支援教育に関わる職員や学校の教員
- ※派遣する教育委員会または特別研究員（地域連携型）の所属校を所管する市区町村教育委員会は、研究課題の研究協力機関になるとともに、特別研究員（地域連携型）が地域で情報収集する際に協力するなどの支援を行っていただきます。

特別研究員（地域連携型）を派遣せず研究所の研究に協力機関として取り組む、研究協力機関の公募も別途行います。

## 令和5年度特別研究員（地域連携型）公募の流れ

### 各教育委員会

② 【申請】 **令和5年1月27日募集〆切**  
特別研究員（地域連携型）受入を研究所に申請  
※研究課題を選択し、特別研究員が取り組む課題をもとに申請書を作成。

④ 【特別研究員（地域連携型）の受入に関するミーティング】 **令和5年3月中旬**  
当研究所の関係研究員、教育委員会及び特別研究員の研究活動についてオンライン会議を開催。

⑤ **令和5年4月以降**

研究所は受入研究チームと担当部署（研究企画部）により、研究活動の支援を行う。  
教育委員会は特別研究員（地域連携型）の活動が充実されるよう支援を行う。

### 国立特別支援教育総合研究所

① 【公募】 **令和4年10月下旬**  
国立特別支援教育総合研究所が取り組む重点課題研究・障害種別特定研究の5課題に対して公募。

③ 【地域派遣特別研究員の受入通知】  
**令和5年2月中旬**  
申請のあった特別研究員（地域連携型）について審査後、受入通知の発送。都道府県・市区町村教育委員会を研究協力機関に指定。